

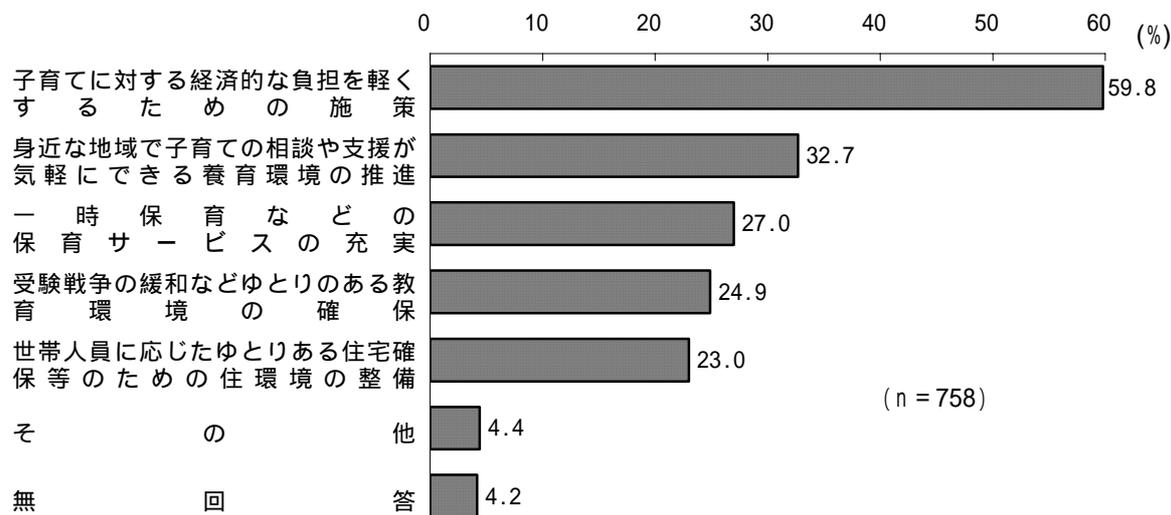
## 5 . 福祉社会

### ( 1 ) 子どもの健全育成のための社会環境

「子育てに対する経済的な負担を軽くするための施策」が6割

問10 子どもが健やかに生まれ育つための社会環境づくりのためには、どのような施策が必要だと思いますか。次の中から2つまで選んでください。

< 図表5 - 1 > 子どもの健全育成のための社会環境（複数回答）

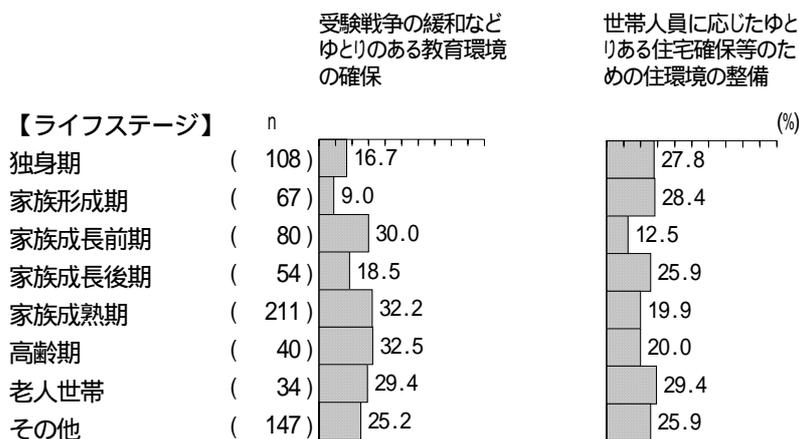
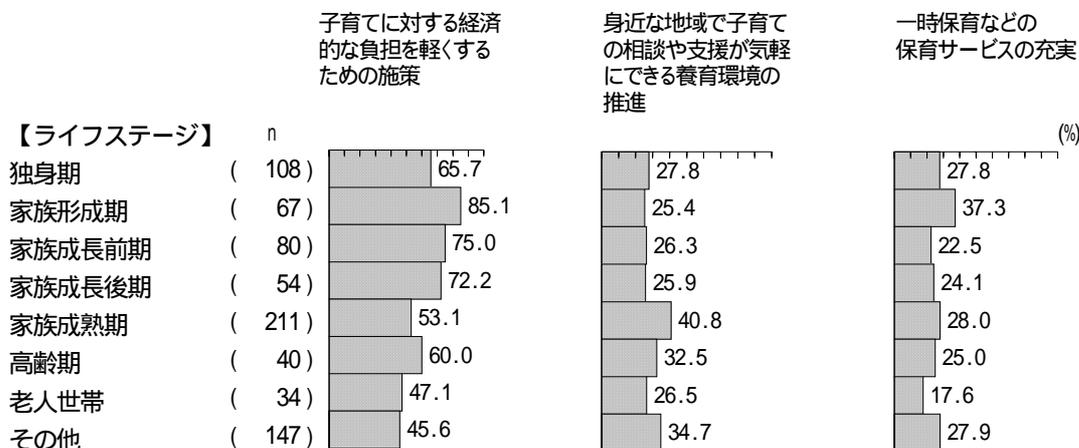


子どもの健全育成に必要な施策について尋ねたところ、「子育てに対する経済的な負担を軽くするための施策」(59.8%)の割合が最も高く6割となっている。次いで、「身近な地域で子育ての相談や支援が気軽にできる養育環境の推進」(32.7%)が3割台で続いている。以下、「一時保育などの保育サービスの充実」(27.0%)、「受験競争の緩和など、ゆとりある教育環境の確保」(24.9%)、「世帯人員に応じたゆとりある住宅確保等のための住環境の整備」(23.0%)となっている。(図表5 - 1)

ライフステージ別で見ると、「子育てに対する経済的な負担を軽くするための施策」は、家族形成期（85.1%）で8割台半ばと高い割合を示している。また、「身近な地域で子育ての相談や支援が気軽にできる養育環境の推進」は、家族成熟期（40.8%）で4割と、他のステージに比べ高くなっている。

（図表5 - 2）

<図表5 - 2> 子どもの健全育成のための社会環境 / ライフステージ別

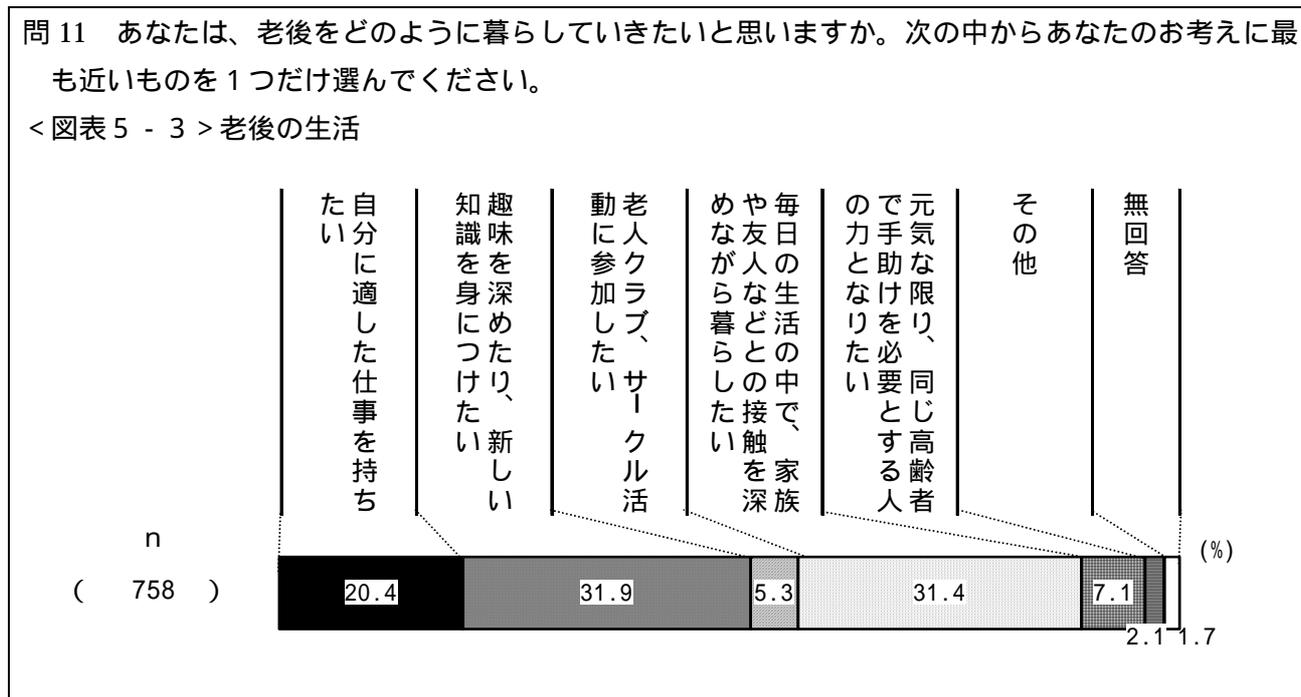


(2) 老後の生活

「趣味を深めたり、新しい知識を身につけたい」と「毎日の生活の中で、家族や友人などとの接触を深めながら暮らしたい」が3割台

問11 あなたは、老後をどのように暮らしていきたいと思いますか。次の中からあなたのお考えに最も近いものを1つだけ選んでください。

<図表5-3> 老後の生活

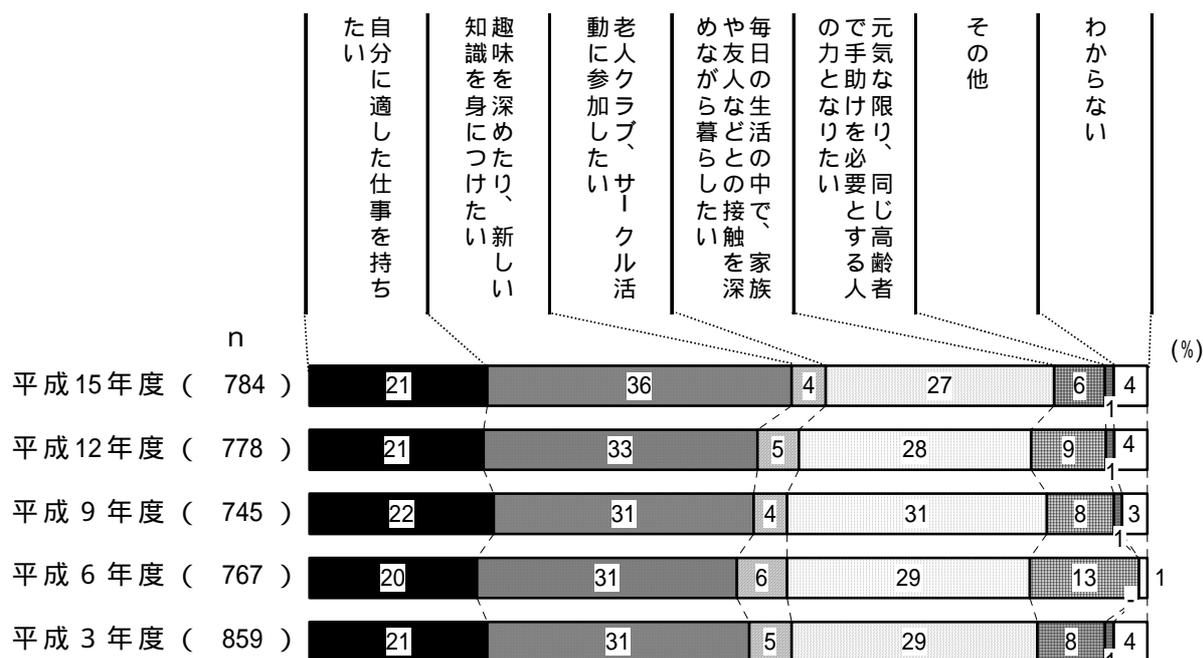


老後をどのように暮らしていきたいと思うか尋ねたところ、「趣味を深めたり、新しい知識を身につけたい」(31.9%)と「毎日の生活の中で、家族や友人などとの接触を深めながら暮らしたい」(31.4%)が3割台と高くなっている。「自分に適した仕事を持ちたい」(20.4%)は2割台となっている。

(図表5-3)

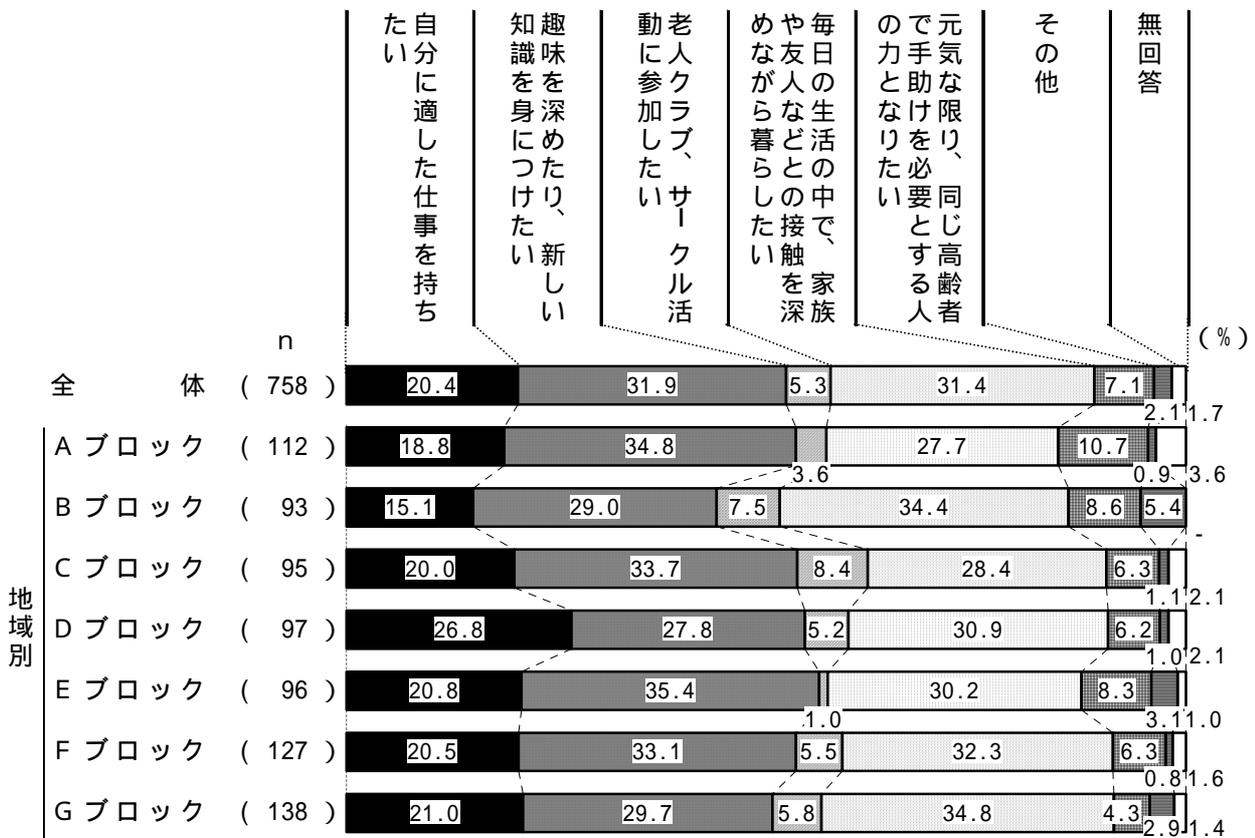
平成3年度からの調査結果の推移をみると、「趣味を深めたり、新しい知識を身につけたい」は平成12年度、15年度と増加の傾向がみられたが、今回調査ではやや減少している。(図表5-4)

<図表5-4> 老後の生活(過年度推移)



地域別にみると、「自分に適した仕事を持ちたい」は、Dブロック（26.8%）で4人に1人となっている。（図表5 - 5）

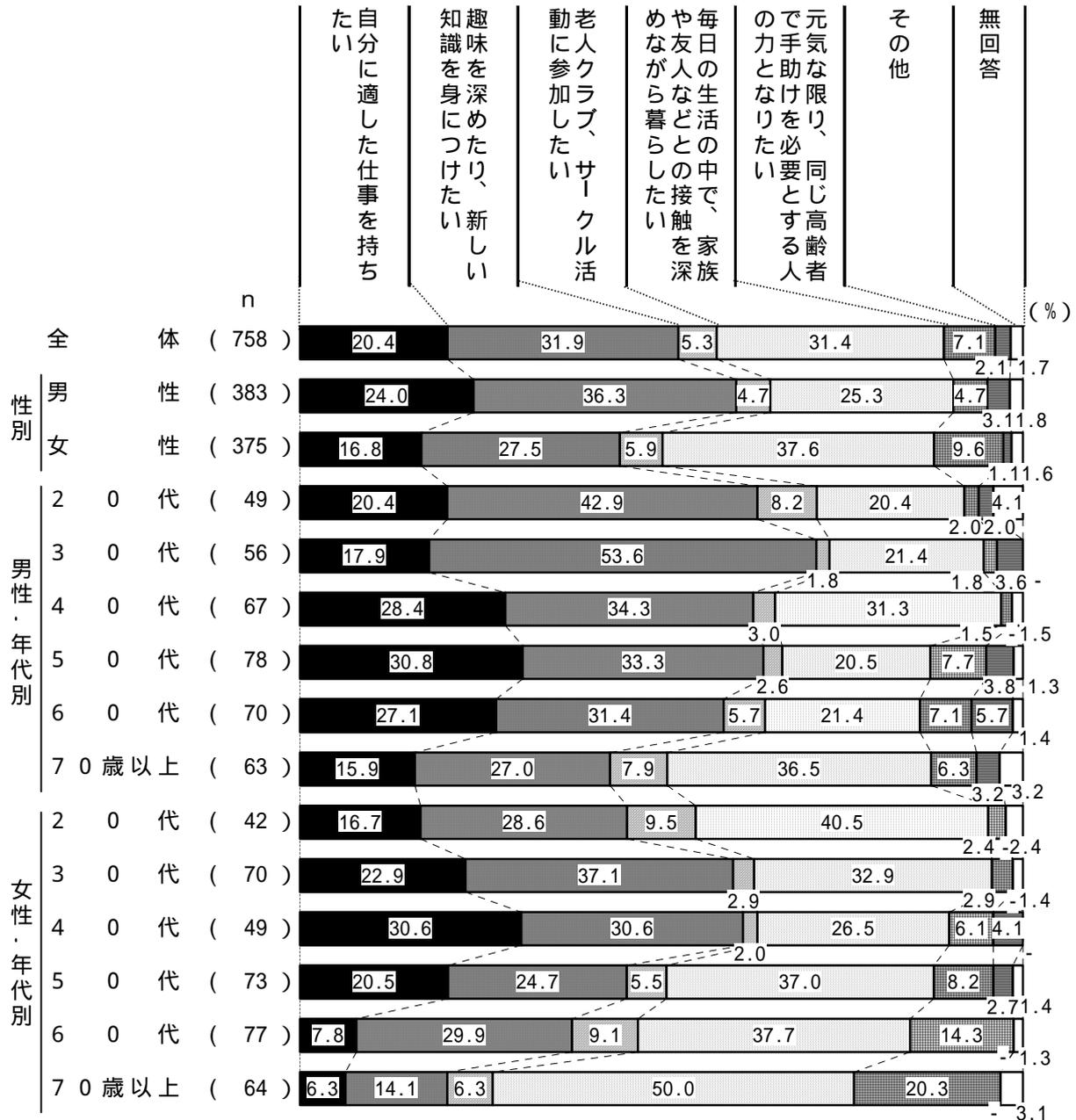
<図表5 - 5> 老後の生活 / 地域別



性別でみると、「趣味を深めたり、新しい知識を身につけたい」(男性 36.3%、女性 27.5%)や「自分に適した仕事を持ちたい」(男性 24.0、女性 16.8%)では、女性よりも男性の方が割合が高くなっている。一方、「毎日の生活の中で、家族や友人などとの接触を深めながら暮らしたい」(男性 25.3%、女性 37.6%)は、女性の方が男性よりも上回っている。(図表5 - 6)

性・年代別では、「趣味を深めたり、新しい知識を身につけたい」は、男性の30代(53.6%)で他の年代に比べて高い。また、「毎日の生活の中で、家族や友人などとの接触を深めながら暮らしたい」は、女性の70歳以上(50.0%)で高く、2人に1人となっている。「自分に適した仕事を持ちたい」は、男性の40代~60代で3割前後である。(図表5 - 6)

<図表5 - 6> 老後の生活 / 性別、性・年代別

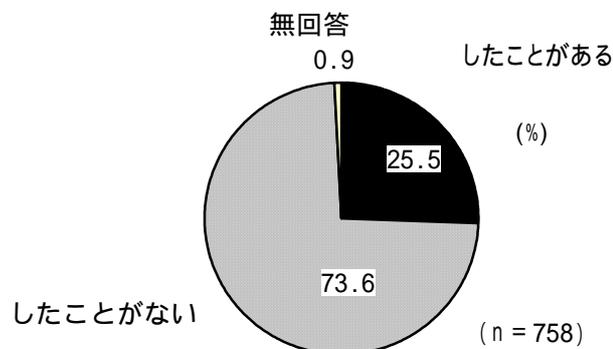


(3) ボランティア活動の経験

「したことがある」は4人に1人

問12 お年寄りや心身に障害のある人々のために、地域でボランティア活動が行われていますが、今までに、あなたはボランティア活動に参加したことがありますか。

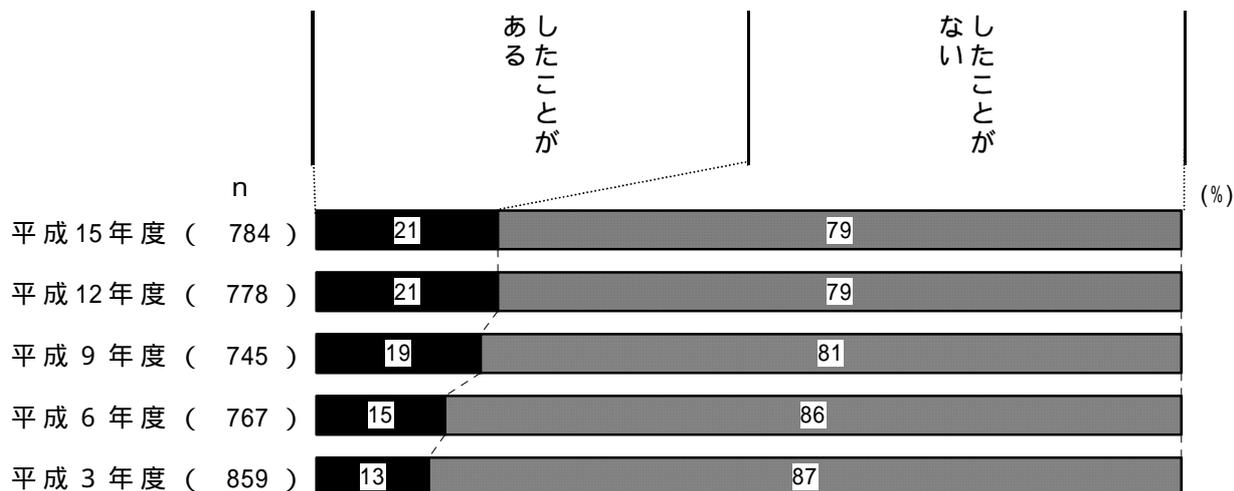
<図表5-7> ボランティア活動の経験



ボランティア活動への参加経験については、「したことがある」(25.5%)は4人に1人となっている。  
(図表5-7)

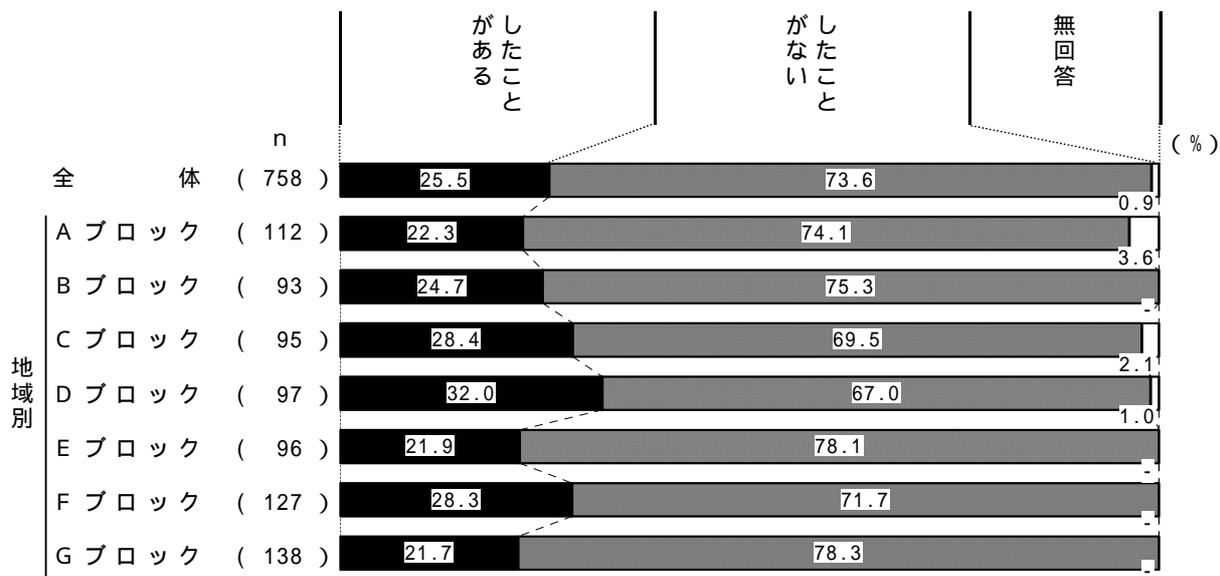
平成3年度からの調査結果の推移をみると、ボランティアを「したことがある」人は年度を追うごとに増加する傾向がみられる。(図表5-8)

<図表5-8> ボランティア活動の経験(過年度推移)



地域別で見ると、「したことがある」の割合は、Dブロック（32.0%）、Cブロック（28.4%）、Fブロック（28.3%）で3割前後となっている。（図表5 - 9）

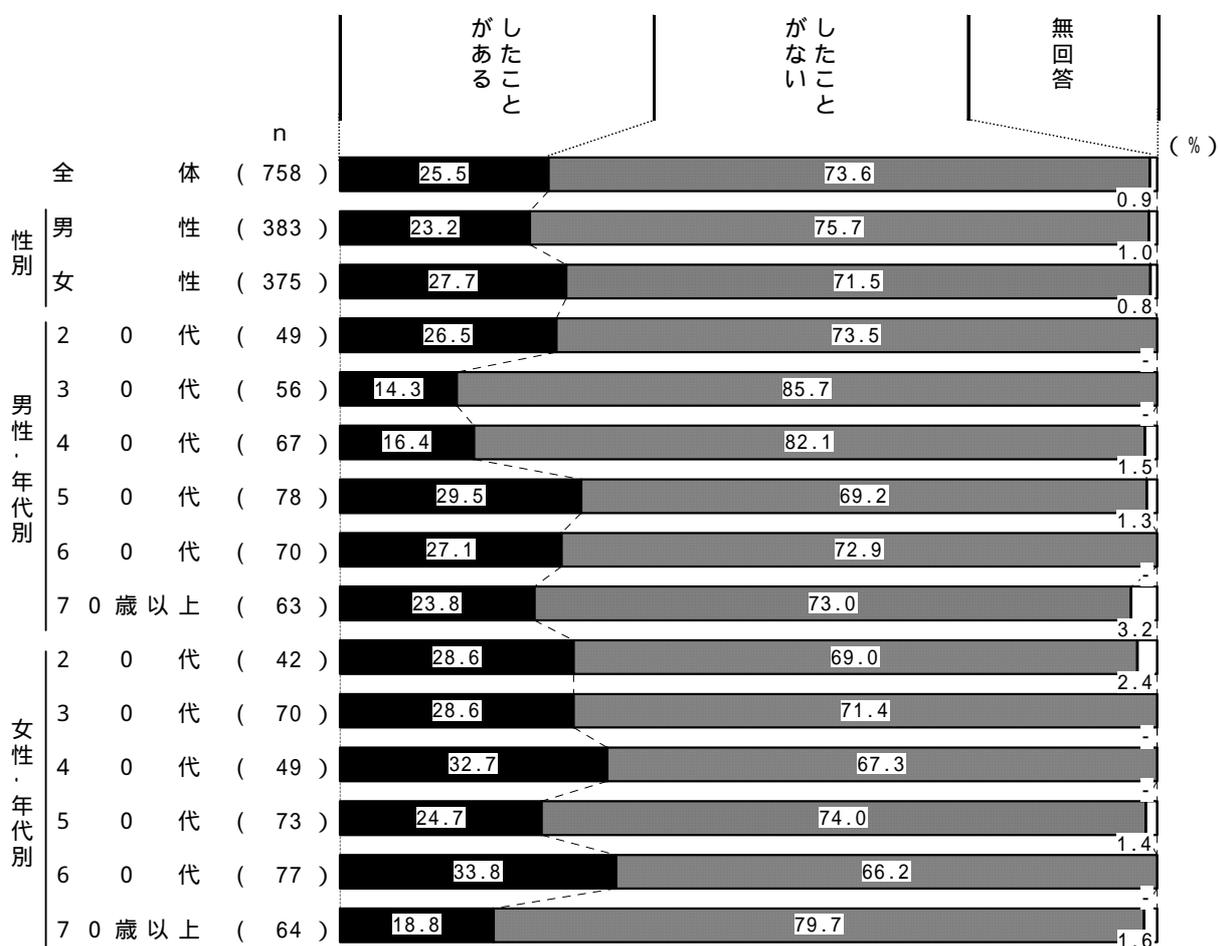
<図表5 - 9> ボランティア活動の経験 / 地域別



性別で見ると、特に大きな差異はみられない。（図表5 - 10）

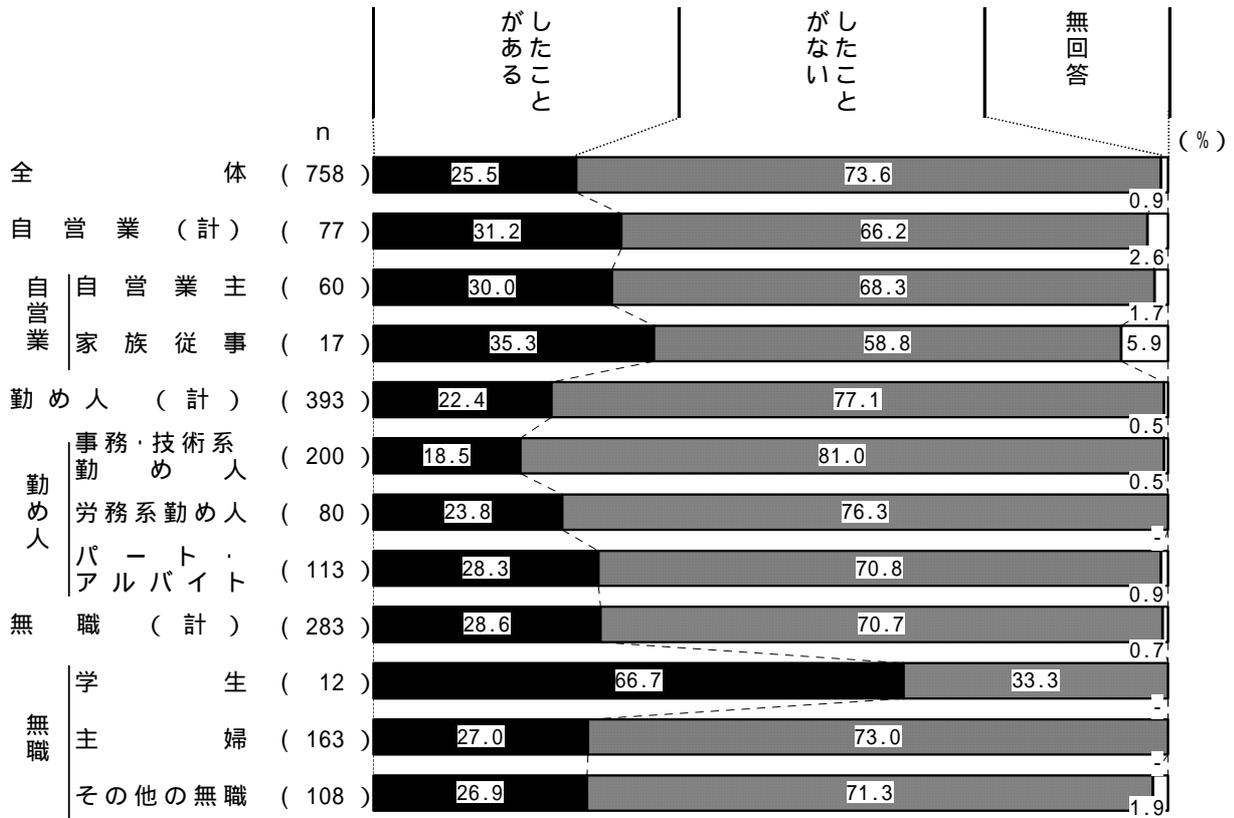
性・年代別では、「したことがある」は女性の60代（33.8%）で3割台となっている。一方、「したことがない」は、男性の30代（85.7%）、40代（82.1%）で8割以上と他の年代に比べボランティア活動への参加経験が無い人が多い。（図表5 - 10）

<図表5 - 10> ボランティア活動の経験 / 性別、性・年代別



職業別でみると、「したことがある」は自営業（計）（31.2%）と約 3 割となっている。一方、「したことがない」は事務・技術系勤め人（ 81.0% ）で多く 8 割を占める。（図表 5 - 11）

<図表 5 - 11> ボランティア活動の経験 / 職業別

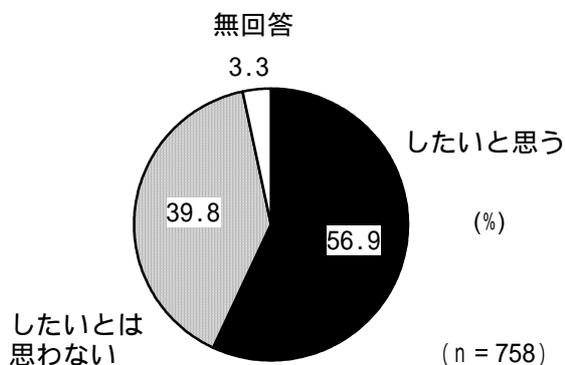


(4) ボランティア活動の意向

「したいと思う」が半数以上、「したいと思わない」が4割

問13 今後、ボランティア活動をしたいと思いませんか。

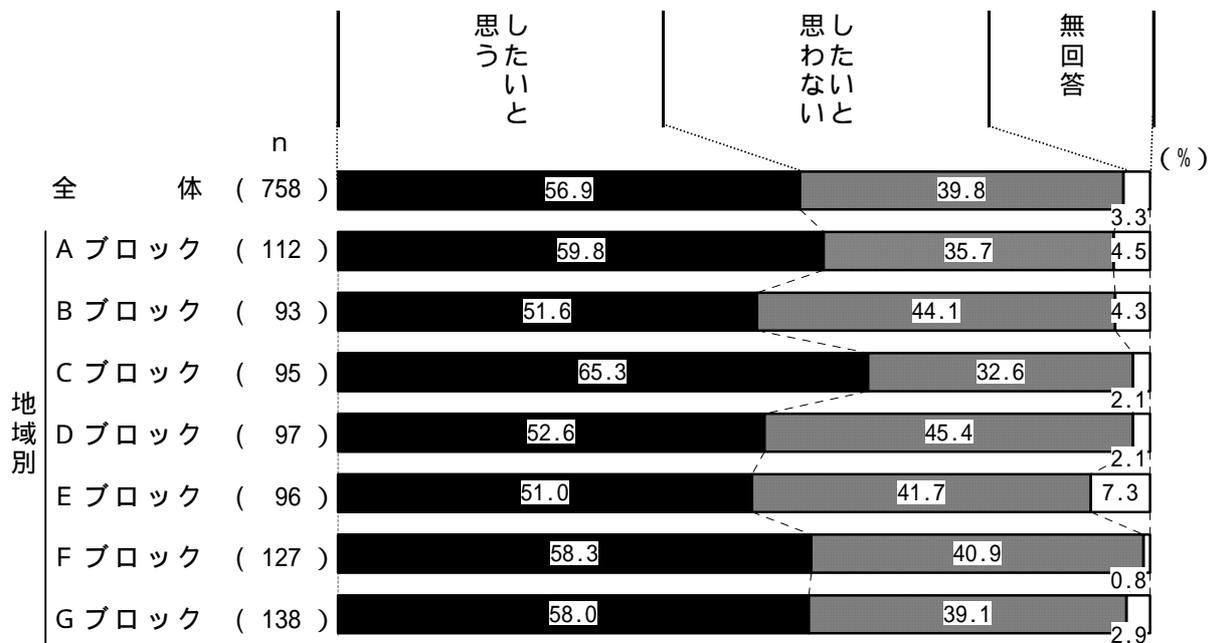
<図表5-12> ボランティア活動の意向



今後のボランティア活動への参加意向については、「したいと思う」(56.9%)が半数を超えている。一方、「したいと思わない」(39.8%)は4割となっている。(図表5-12)

地域別でみると、「したいと思う」の割合はすべての地域で半数以上を占めており、特にCブロック(65.3%)では、割合が高く約3人に2人となっている。(図表5-13)

<図表5-13> ボランティア活動の意向/地域別

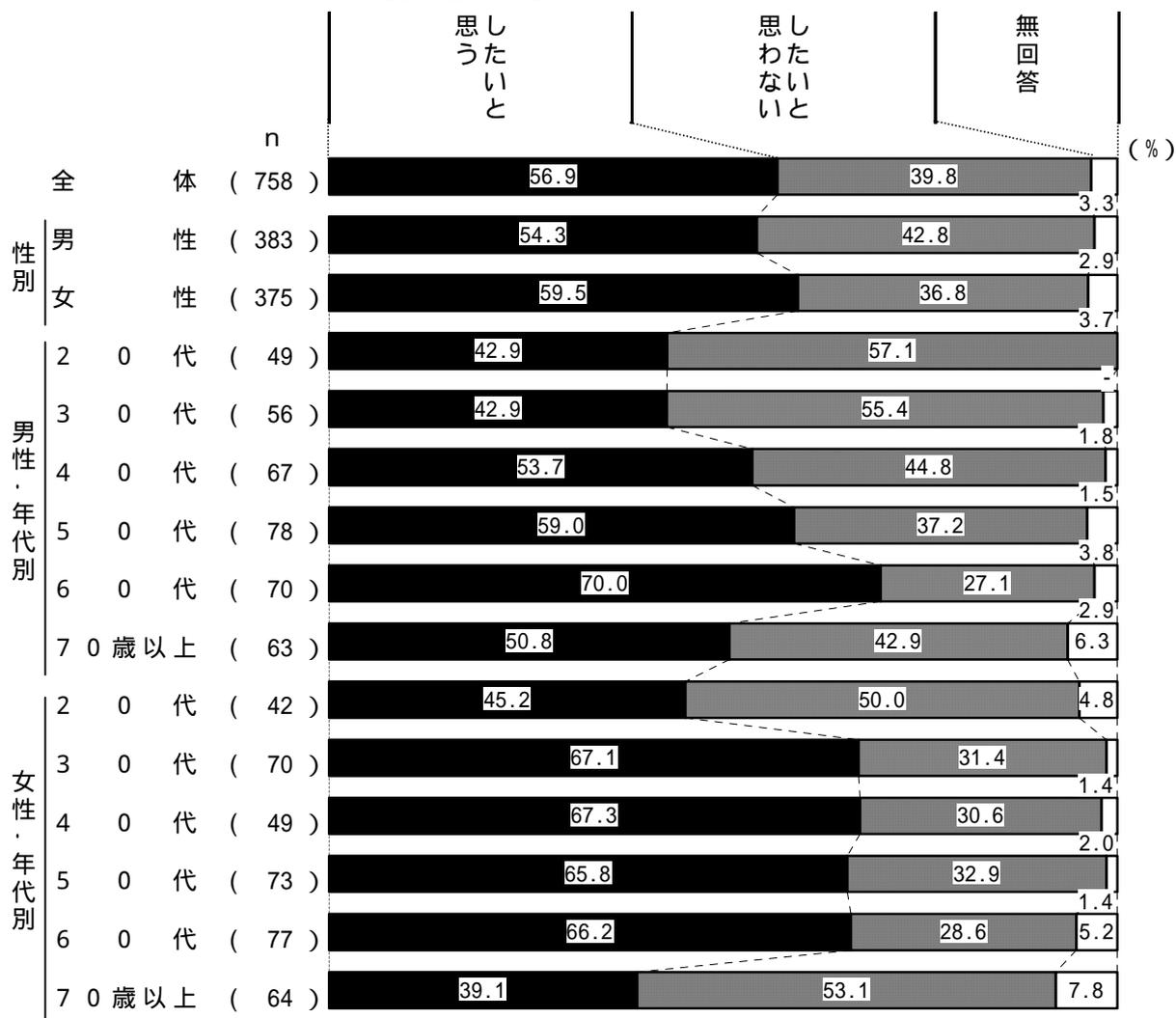


性別でみると、「したいと思う」の割合は女性（59.5%）の方が男性（54.3%）よりもやや高くなっている。（図表5 - 14）

性・年代別では、「したいと思う」の割合は、男性では70歳以上を除き、年代が上がるに従い高くなっており60代（70.0%）では7割を占める。女性では、30代～60代で高く、6割台半ばとなっている。

（図表5 - 14）

<図表5 - 14> ボランティア活動の意向 / 性・年代別



職業別では、「したいと思う」の割合は、自営業(計)(64.9%)で高く、約3人に2人となっている。

(図表5 - 15)

<図表5 - 15> ボランティア活動の意向 / 職業別

